

九州場所で念願の新入幕!

島原半島初の幕内力士

幕内力士佐田の富士関誕生!!

10月31日に、日本相撲協会は南島原市加津佐町出身の大相撲力士、佐田の富士関(本名・山本哲博)が幕内に昇進と発表しました。番付は西前頭15枚目です。

長崎県出身の幕内力士としては、戦後14人目で4年振りの快挙。また、島原半島では初めての幕内力士となりました。

佐田の富士関は、昨年の3月の春場所(大阪)で十両に昇進しました。しかし、2場所連続で負け越し、幕下に降格したものの1場所ですべて復帰。十両に復帰した場所では、8勝7敗と好成績を収めたものの、その後の3場所不振に苦しみました。今年7月の名古屋場所でも9勝6敗と勝ち越し。さらに9月場所(東京)では東十両2枚目の好位置から、気迫の相撲で8勝7敗と2場所連続で勝ち越し、新入幕が期待されていました。



11月11日に諫早市内で境川部屋の激励会が開催され、後援会の皆さんが駆けつけました。

10月31日に九州場所の番付が発表されました。出身地である加津佐町では「幕内昇進おめでとう」と書かれた横断幕が掲げられるなど、市内はお祝いのムード一色。市も市役所西有家庁舎と地元加津佐庁舎に懸垂幕を設置し、幕内昇進を激励しました。地元商店では佐田の富士関の顔が描かれた、クリアムばんが販売されるなど、幕内昇進が各方面で起爆剤になりそうです。

11月11日には諫早市内で境川部屋の激励会が開催されました。境川親方によると「今回、いい稽古ができていたので、後は引かずにとだけ自分の相撲が出来るかがカギ」と今場所のポイントを教えてくださいました。

さいました。佐田の富士関は「目標はまず勝ち越しを狙うこと。最終的には二桁勝てるように精進します」と力強く話しました。

11月13日には九州場所が始まり、幕内佐田の富士関は未知のステージに挑戦しました。今後ますますの活躍が期待されます。

うにしています。ぜひ勝ち越ししてほしい」とエールを送りました。また、山本博さんは「息子は、弱音を吐かず、稽古をよく頑張っているようです。親としては幕内レベルについていけるかハラハラしています。地元の声援に励まされるよう、一クラス上での活躍を願っています」と激励しました。



佐田の富士関の幕内昇進の朗報に、笑顔がこぼれました。父の山本 博さん(左)と栗原克彦後援会長(右)

佐田の富士 哲博

- 年齢…26歳
- 身長…189cm
- 体重…175kg(高校卒業時90kg台)
- スポーツ歴…柔道(高校まで)
- 所属部屋…境川部屋
- 得意技…突き、押し
- 初土俵…2003年1月場所
- 土俵入りの経緯…加津佐で少年柔道をはじめた。加津佐中学校は正規の柔道部がなかったため、小中学生合同の柔道教室であった。このときに、弟(現在の小浜海)も道場に通い、兄弟で柔道をしていた。小浜高校に進学し、高校2年生の時に柔道の県大会で個人準優勝。恩師の薦めで大相撲入りを決意し、境川部屋に入門した。

各受賞おめでとうございます

栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰 (地区組織)



南島原市食生活改善推進員協議会 布津支部 支部長 池田 伊奈子さん(写真中央) 副支部長 平川 理保さん(写真左)



このたび、泉川欣一氏(医療法人 栄和会泉川病院理事長、社団法人南高医師会長)が、日本医師会最高優功賞(個人の部)に輝きました。

同賞は都道府県医師会長推薦によるもので、医学、医療の研究により医学の発展または社会福祉の向上に貢献し、特に功績顕著なる功労者に贈られています。

日本医師会最高優功賞 (個人の部)

第43回 日本展覧会

- (特選)
- 彫刻部門…徳安 和博さん(南有馬町出身) 2度目受賞
- (入選)
- 書部門…鷺村 正照さん(有家町) 初受賞



島原地域広域市町村圏組合主催の消防スケッチ大会で、栗原朱里さん(山口小4年)が最高賞の管理者賞に輝きました。同大会は防火意識の高揚を図るため、30回目の開催。今回は922人が参加し、管理者賞が1点選ばれました。

島原地域広域市町村圏 組合消防スケッチ大会 管理者賞

平成23年度 ながさき農林業大賞



●特産部門(トップファーマー) 運営委員会長賞 大町 泰久さん・大町 みねさん



●畜産部門(トップファーマー) 運営委員会長賞 有限会社 伊藤ファーム 伊藤 暢啓さん



●野菜部門(トップファーマー) 運営委員会長賞 本村 忠さん・本村 龍次さん



●高度生産集団部門(いきいきファーム) 運営委員会長賞 JA島原雲仙深江地区にら部会 代表者: 永石 保さん



●農業環境保全部会(げんきビレッジ) 長崎県知事賞 農事組合法人 供給センター長崎 代表者: 荒木 弘光さん